

1. 活動テーマ

【テーマ】

○小麦粉に水を入れて変化していく感触や温度を感じながら遊ぶ。

【テーマの設定理由】

○小麦粉に水を入れたらどうなるのか、小麦粉の変化を見て触れて保育士に伝えながら自由に遊ぶ。

2. 活動スケジュール

○ホールでボウルの中に入った小麦粉に少しずつ水を加えていく。形が作れるくらいまで遊べるようにする。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定

- 小麦粉 ○ブルーシート ○ボウル ○おままごと用のお皿 ○机(小) ○濡れタオル ○着替え
- 水入りのボトル
- 自由に遊ぶことができるように広くブルーシートを敷く。

4. 探求活動の実践

【活動内容】

6月下旬に小麦粉だけに触れて遊ぶ取り組みから、次の段階として水を加えたらどんな感触が得られるかを目的に行う。水を少しずつ加えて固体になっていく粉を子ども達がどう扱っていくかを試した。指についた小麦粉をつまんでとる、手で払う、叩くなどしていた。落ちたものをつまんでのぼしたり、丸めたり、しながら「ご飯できた」とおままごと遊びに見立ててお皿にのせていた。

【活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり】

小麦粉だけに触れていた時は笑顔。水を入れていくと手についてしまう小麦粉が気になり夢中で取り始めていた。「手にいっぱい付いたね」と言葉を掛けると「ほらっ」と嬉しそうに見せてくれた。手の平をこすり合わせているうちに固形になりを保育士に見せる子もいた。固形の物が出来たので、保育士がお皿を出して「ここにのせてみる？」と聞くと嬉しそうにのせていた。ひとりの子が載せている様子を見て他の子たちも真似してのせ始めていた。保育士が「何が出来たの？」と聞くと、伸ばしながら「ラーメン」「いちご」と嬉しそうに答えていた。保育士がそれぞれの子たちの側に行き、話しかけると嬉しそうに感想や作った物を見せてくれた。探究活動が終わりタライの水で手を洗い取れない小麦粉を引き続き指先でこすってとろうとする姿が見られていた。



5. 振り返り

【振り返りによって得た先生の気づき】

小麦粉に水を入れて捏ねていくうちに、手につく小麦粉を不快に感じると思ったがそうでもなかった。むしろねばつきをとるのが楽しいようだった。手先も器用で伸ばす、ちぎる、丸める、振る、払い落とすなどの行為が出来ていた。遊びが終わってから、観察にきていた保育士たちに嬉しそうに見せていた。言葉かけがこんなにも子ども達の笑顔を増やすことに気が付いた。手洗いでタライの水で手を洗ったが、水の為、こすっても落ちない様子だったが、子ども達は落とそうと夢中になっていた。お湯やスポンジでこすったらどうか、落ちやすい方法も今後、探求していきたいと思った。

そしてこの活動で課題にはしていなかったが、振り返ってみて気づいたことは、子ども達は五感を使い遊んでいたという事。その問いかけも今後の活動でいかせていきたいと思う。

※子ども達を感じられた五感

小麦粉＝触覚、

小麦粉に水を入れて変化した粉＝視覚、

小麦粉を捏ねる音、手を洗った時の水の音＝聴覚、

小麦粉の匂い＝嗅覚

見立てて作られた物（苺やラーメンの味を思い出していたと思われる）＝味覚